

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	交流促進センター管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 商工観光課		電話番号(内線): 967-1111(141)	
記入者情報	所属長: 米湊 誠二		担当責任者: 宮田 哲二	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民・市外観光客			
根拠法令等	伊予市なかやま交流促進センター条例、伊予市なかやま交流促進センター条例施行規則			
事業の目的	都市との交流拠点施設としての機能を総合的に活用することによって、交流を多面的に展開し、もって地域経済の活性化に寄与することを目的とする。			
事業の内容	指定管理の下、交流促進センターの運営及び維持管理に関すること 交流促進センターの利用許可に関すること 地域の交流促進に関すること			
改善策の具体的な取り組み(当初)	利用者の多様なニーズに応じた施設・設備の改修を行い、利用者数及び売上額の増加に努める。			
改善策の具体的な取り組み	伊予市内観光パンフレット等でのPRやイベント等により、利用者数の増、ひいては収益の向上に努める。			

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	7,438	13,490	5,806	12,537
	人件費	559	569	244	569
	合計	0	14,059	6,050	13,106
人件費内訳	人工数	0.07	0.07	0.03	0.07
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	559	569	244	569
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,997	14,059	6,050	13,106

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
利用者人数	人	51394	52000	27126	52923
売上金額	千円	104785	105000	52542	105442

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		9,501	10,000	10,000	10,000	

成果指標				
成果指標	施設利用者人数			
指標設定の考え方	施設活用の効果の判断基礎となる施設利用者の総計。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	50000人	52000人	52000人	0
実 績	51394人	52923人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設・設備の改修については、利用者のニーズによる設備改修や備品購入を予算内で実施できたが、建物の老朽化により、雨漏りや外壁の改修等建物の大規模改修を行う必要がある。利用者の増、収益の向上については、自主イベントの実施やパンフレットの等によるPRを積極的また継続的に行っていくことが必要。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	自然豊富な癒しの場所や食事へのこだわりなどをアピールして、観光情報誌等を活用して全国発信するなどの取組を行うことにより、県内外からの利用者も少なくない。今後においては、「なかやま栗まつり」のように市内イベントに合わせた利用PR活動や自主イベントなどを積極的に取り入れ、利用率の向上を目指していく必要がある。また、利用者へのサービス向上のためには、老朽化した施設の随時改修や修繕を行う必要もある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・地元の人や近場の人もどんどん来てもらえるような感じで考えるとよいと思う。・周辺の公園やステージなど全部一環として整備している。それらの施設は花の森ホテルの指定管理料以上に維持管理費用がかかっている。この部分は民間では無理だ。宴会のあるホテル機能については、民間に任せるのも一つの選択肢ではないか。・利用者の立場として、善戦健闘していると思う。改修については費用もかさむであろうが、あえてリピートということに真剣に立ち向かい、中山ミニインターチェンジもできるので、しっかり頑張って発展してほしい。・赤字の市はいろんな施設を持ちすぎていると思う。花の森ホテルは、できれば完全民営化してほしいと思う。・冬場のイベントが全国的にない。比較的温暖なこの地域であればこそ、一番寒い1月の終わりから2月辺りに何か起爆剤となるイベントを考えていただきたい。・指定管理委託料を下げると、手を挙げる人が少なくなるのは必然である。そうすると売りに売れないということにもなる。模様替えとか、利用者の便、仕組みや仕掛け作りを考えながら、視野を広く持って取組めば、前向きな成果が出ると思う。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>さらに重点化する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>中山地域の観光施設の目玉であり、今以上にPR活動や自主イベントを積極的に実施すること。</p>